

取付・取扱説明書

全量流入型雨水タンク



もくじ

安全上のご注意

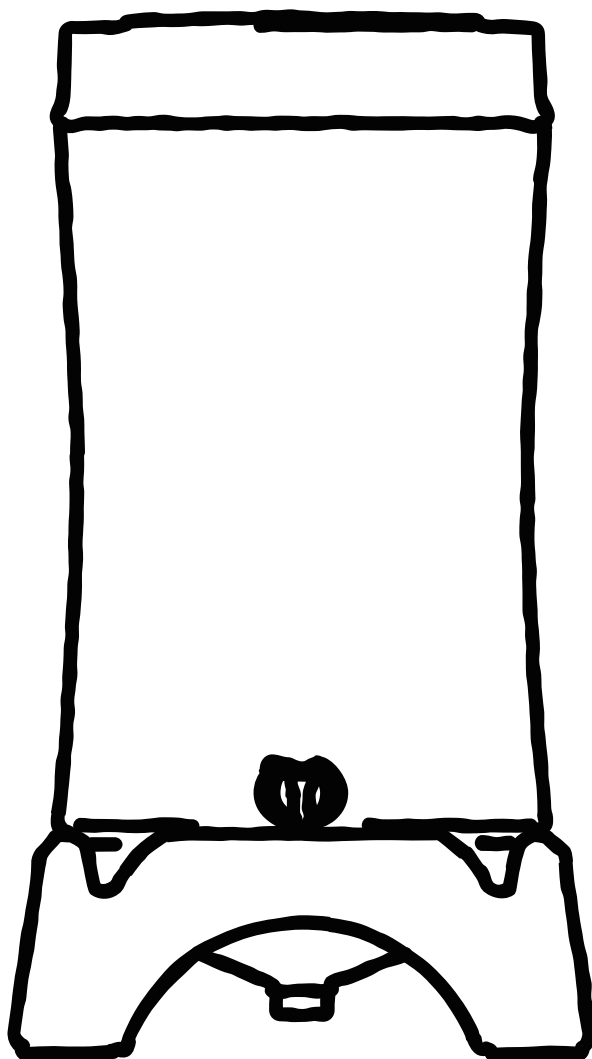
各部の名称

同梱品

取付方法

メンテナンス方法

お問い合わせ



このたびは、雨水貯留タンク【RainHarvest】をお買いあげいただき、ありがとうございます。

- 取付・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」(P.2～P.3)を必ずお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容です。



次のことをしない

- 本製品は雨水の貯留専用です。雨水以外の薬品等を貯留したり、雨水に混ぜたりしないでください。
- タンクに貯まった雨水は絶対に飲み水としてご使用しないでください。
- タンクの上や蛇口コックにのったりもたれないでください。
- タンク内に電気製品をいれて使用しないでください。
- 火元・熱源に近い場所に設置しないでください。
- 商品にシンナーや有機溶剤をつかって洗浄しないでください。
- タンクの上に物を置かないでください。



次のことを守る

- 満水時は総重量が160kg以上になります。地面の沈下などの恐れがある場合は重量に十分耐えうる場所に設置して下さい。
- タンクは水平で安定した場所に設置してください。
- 強風や落雪の影響を受けない場所に設置してください。
- 台風や強風時は転倒防止ならびに飛散しないようにしてください。
- タンクを移動させる場合は水を完全に抜いてから移動させてください。



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性、及び物損被害が想定される内容です。



次のことをしない

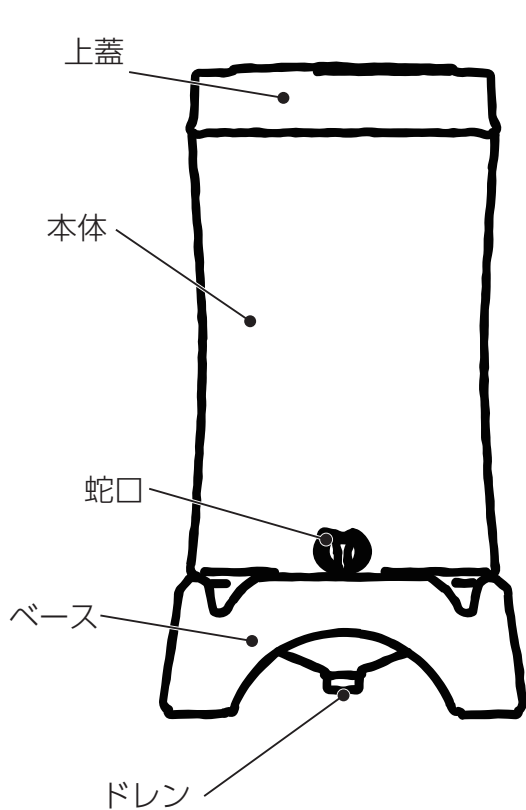
- 改造などはしないでください。
- 凍結の恐れがある時期はタンクの使用をやめ貯まった雨水を抜いて保管して下さい。



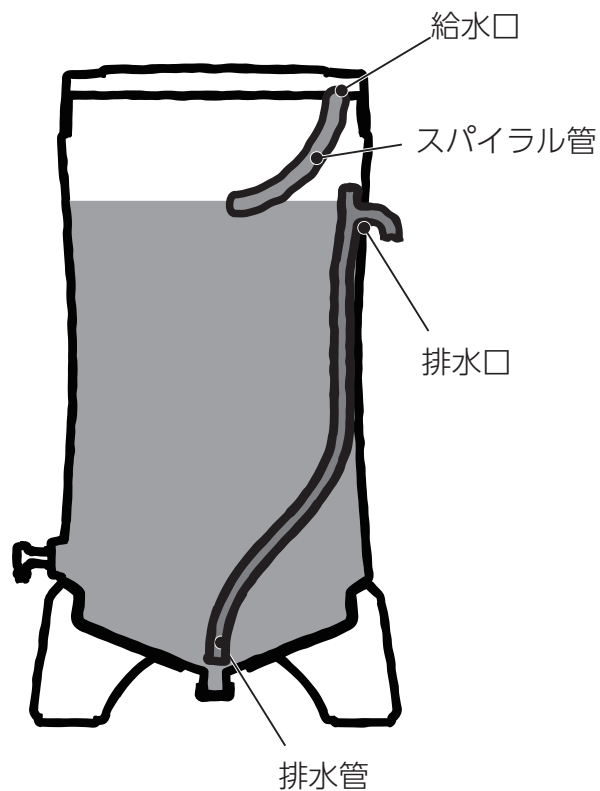
次のことを守る

- 取付の際はケガのないよう保護具(軍手など)を着用して下さい。
- 取水器フィルター・タンク本体は定期的に掃除をしてください。
- タンクは重量物(約14kg)です。運搬の際は十分にご注意下さい。

各部の名称

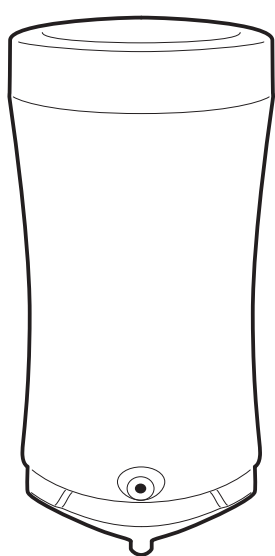


正面

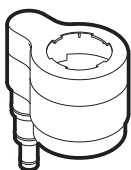


横断面

同梱品



本体



取水器



蛇口



ドレンキャップ



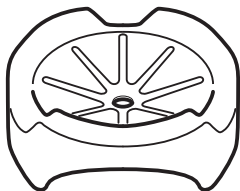
スパイラル管



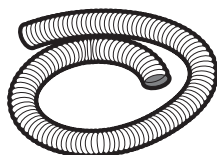
取水器用ポリ栓



グロメットパッキン(2個)



ベース

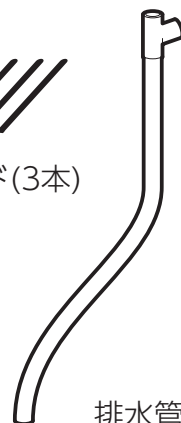


給水ホース(0.6m)

排水ホース(1.5m)



結束バンド(3本)

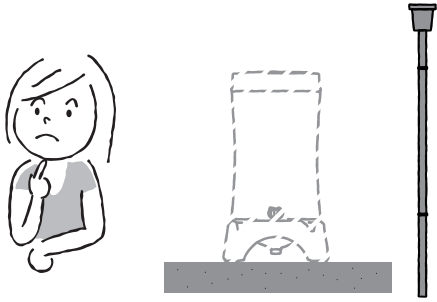


排水管

取付方法

① 設置場所を決める

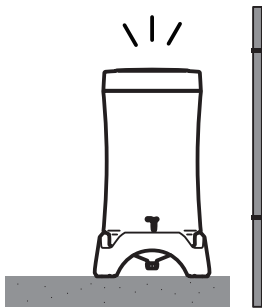
排水機能を最大限発揮するため、できるだけ集水面積(屋根面積)の多い雨どいに取り付けてください。



※平坦かつコンクリート路盤など頑丈な地盤に設置してください。

② タンクを設置する

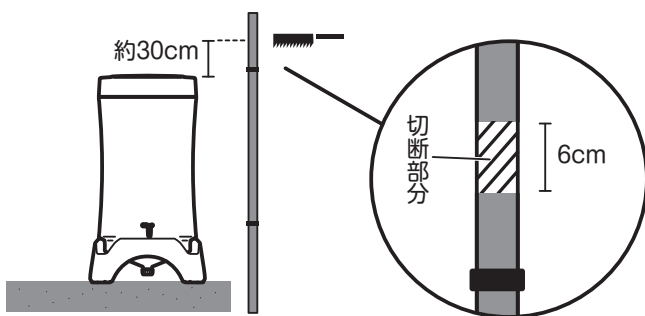
雨どいに沿ってタンクを設置します。設置面を地面に設置される場合は重さによる沈下のないようしっかり地盤を固めてください。



※50cm以上離して設置する場合は給水用の延長ホースが必要です。

③ たてといを切断する

タンクの天板から約30cm程度上部を切断し、さらに切断面から6cm上部を切断します。



④ 取水器の上フタを加工する

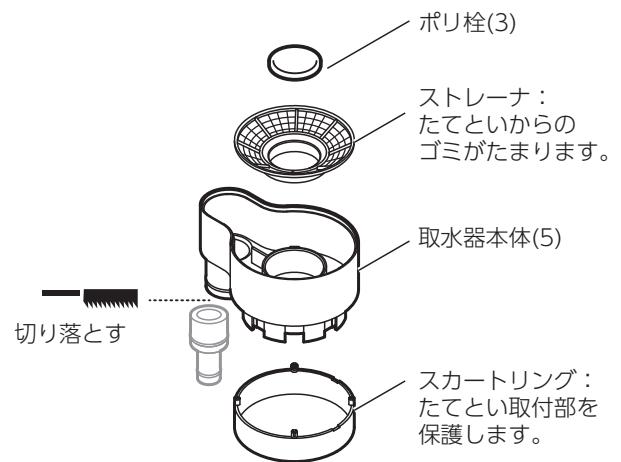
取水器の上フタをたてとい対応表(5ページ)にあわせて切断します。



※たてといの形状によっては切断が不要な場合があります。

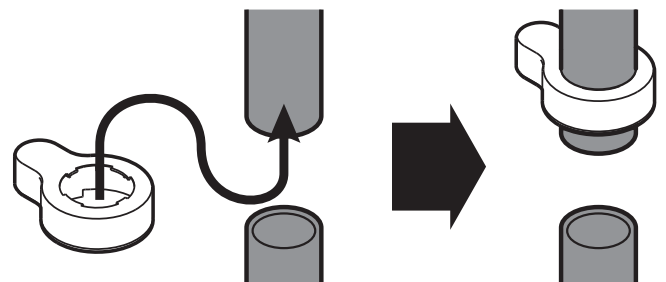
⑤ 取水器本体を組み立てる

たてといを流れる雨水を全量タンクに流し込むために栓をします。また、給水ホース接続部を下図の通り1段目を残して切り取ります。



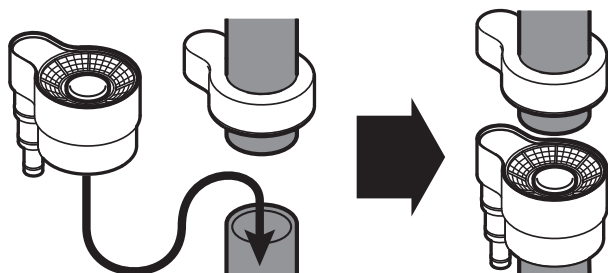
⑥ 取水器上フタをたてといに通す

④で加工した取水器上フタを③で切断したたてとい上側に通します。



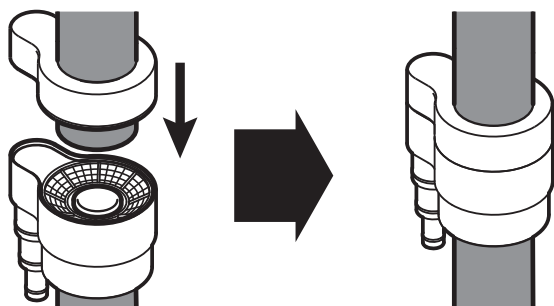
⑦ 取水器本体をたてといにはめ込む

⑤で組み立てた取水器本体を③で切断したたてとい下側にはめ込みます。



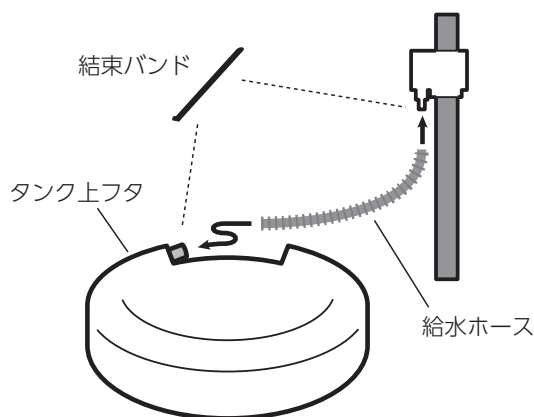
⑧ 取水器本体と上フタを接続する

たてといの上側にある取水器上フタを下げたてとい本体と接続します。



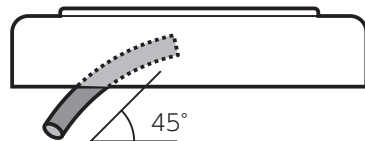
⑧ 給水ホースを接続する

タンク上フタ上部の接続口に給水パイプ(0.6m)を接続し、取水器と給水パイプを接続し結束バンドで締めます。



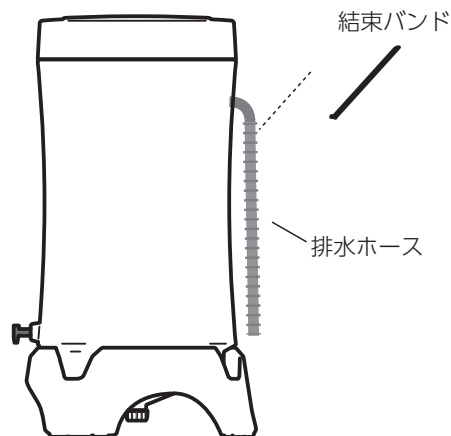
⑨ スパイラル管の角度を調整する

タンク内部に入るスパイラル管が斜め45度程度、下を向くように調整します。



⑩ 排水ホースを接続する

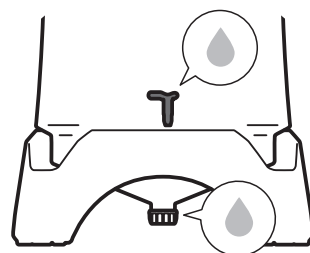
排水ホース(1.5m)をタンク背面の排水口に接続し結束バンドで締めます。



※排水ホースの先は、側溝などに排水する、雨どい下部に接続し排水する、他の容器に接続してさらに貯める、お庭に浸透させる、雨どい下部に戻す、など状況にあわせて設置してください。

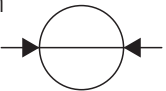
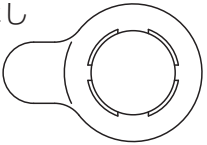
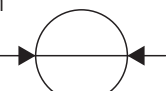
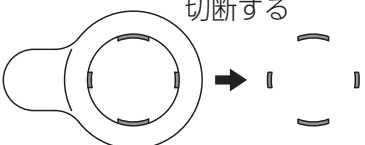
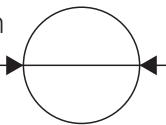
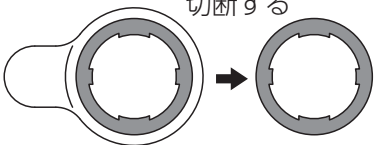
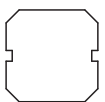
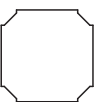
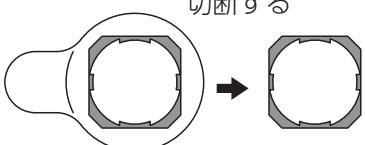
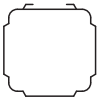
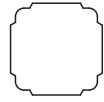
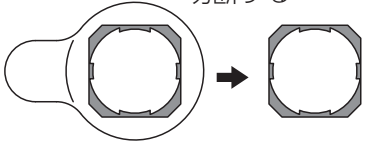
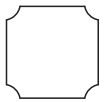
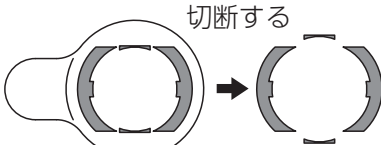
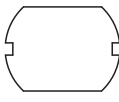
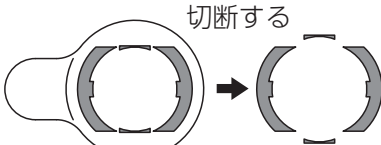
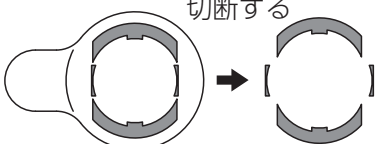
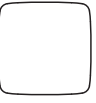
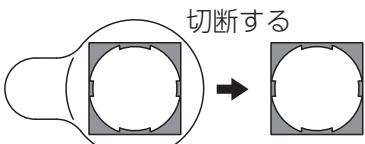
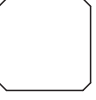
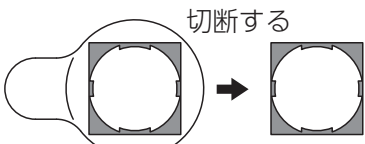
⑩ 各部の緩みを確認する

蛇口の緩み、ドレンの緩みは水漏れの原因となります。緩んでいる場合は増し締めを行ってください。



※かんたんな集水量の計算方法: 屋根面積1㎡に1時間あたり1mmの降雨があった場合、1時間あたり1ℓ貯める事ができます。たとえば集水面積が10㎡、降雨量が5mm/hの場合は1時間あたり50ℓ貯める事ができます。(蒸発などは計算外)

たてとい対応表

メーカー	たてとい形状	リブ部切断箇所
	丸たてとい 55mm 	切断なし 
	丸たてとい 60mm 	切断する 
	丸たてとい 76mm 	切断する 
パナソニック(株) 旧 パナソニック電工(株)	PC30 60×60 mm  S30 60×60 mm 	切断する 
デンカ(株) 旧 電気化学工業	F35 60×60 mm  K35 60×60 mm 	切断する 
積水化学工業(株)	Y60 60×60 mm 	切断する 
	MY60 55×75 mm 	切断する  <p>●向きが選択できます。</p> 切断する 
三菱ケミカル(株) 旧 三菱樹脂(株)	V60 60×60 mm 	切断する 
タキロン(株)	T30 60×60 mm 	切断する 

メンテナンス方法

定期的に集水器のフィルターとタンク本体の掃除を行って下さい。

掃除の頻度は設置環境や季節によって変動しますのでこまめに確認してください。

取水器の掃除方法

取水器の上蓋を上部にスライドしたまったゴミを除去してください。

頻繁にフィルターが落ち葉などで詰まってしまう場合、フィルター中央の「取水器用ポリ栓」を取りはずすことで、詰まりを改善する事ができます。ただし、タンク側への給水量が減少するため、雨水の循環効率が低下しますのでご注意ください。

タンク本体の掃除方法

タンク底部のドレンを反時計回りにまわすとドレンがはずれタンク内の水を全量排水する事ができます。

また沈殿物はホースやジョーロなどで簡単に流すことができます。3ヶ月に1度程度は底部を点検し、沈殿物がある場合は掃除をお勧めいたします。

蛇口コックの交換方法

蛇口コックはタンク内側から樹脂製のナットで挟み込んで取り付けられています。

取り外す際は、タンク内側の樹脂ナットを反時計回りにまわしてください。

お取り付けの際は、蛇口を正規の位置に向け、内側の樹脂製ナットを時計回りに締め付けてください。

緩みがあると水漏れの原因となりますのでご注意ください。

お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは

株式会社日盛興産 TOKILABO ～節水村～

お客様相談窓口 (受付時間平日8:00～17:00)

0770-72-5152

ULTRALIGHT WATER PURIFIER ボトル

Ultralight Water Purifier Bottle

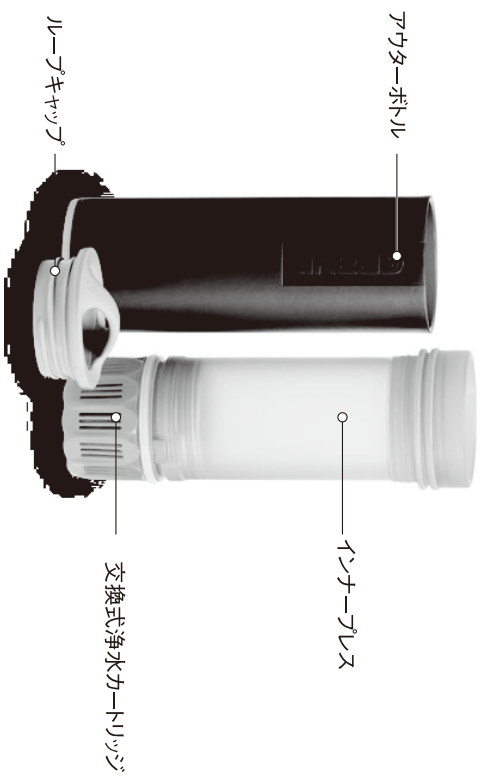
この度はお買いいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前の前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

本製品は汚れた水を素早く簡単に浄水できる浄水機能付きボトルです。浄水装置とボトルが一体化されており、コンパクトに持ち運ぶことができます。
*あらゆる汚染水を浄水するものではありません。本説明書に記載の注意事項をよく読み、対象となる汚染水に對してのみ使用してください。

■ 各部の名称



■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- ウォーターボトル、インナーズリーブ、ループレキヤツプは、ぬるま湯と洗剤で洗剤で手洗いしてください。
- 浄水カートリッジは洗剤で洗わないでください。
- 浄水カートリッジはきれいな水でよくすすぎ、タオルなどで拭いて、十分に乾燥させてください。
- 浄水カートリッジを完全に乾燥させるまでに最低 48 時間はかかります。

■ 保管方法

- 雨露、粉塵、直射日光、高温、多湿を受けることがない、風通しの良い乾燥した清潔な場所で保管してください。
- 保管中は完全に乾燥させてから浄水カートリッジ、インナーズリーブ、ウォーターボトル、ループレキヤツプを組み合わせて、隙間が無いように閉めてください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。

■ 耐用年数

- 浄水カートリッジの寿命は未開封で密封された状態で 10 年間、初回使用時から 3 年間です。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の本製品の弊社窓口までご連絡ください。
製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。
なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。
○本製品の誤った使用方法によるもの ○間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
○乱暴な取り扱いによるもの ○その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの
破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

■ 仕様

品番	1899151
品名	ULウォーターピュリファイヤー ボトル
容量	473mL
原料	ウォーターボトル、インナーズリーブ…ポリプロピレン
樹脂	ループレキヤツプ、カートリッジ…ABS樹脂
	パッキン…シリコーンゴム
	インナーズリーブ外側ゴム…熱可塑性エラストマー
耐熱温度	ウォーターボトル、インナーズリーブ…110℃
	ループレキヤツプ、カートリッジ…100℃
ろ過流量	473mL/15秒 (2L/分) ※カートリッジ交換目安 300回 (150L)
規格	本製品は公衆衛生安全の分野で国際的に認められた NSF による味、塩素、濁り、有害物質などの除去に関する規格 NSF No.42、No.53 に準拠した試験を行っています。

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

■ 安全上の注意 必ずお読みください

⚠ 警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または肉体的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 本製品はいかなる水でも処理できる完全な浄水機能を持った使用に起因する損害や傷害、死亡事故に対していかなる責任をも負いません。
- 常に一番きれいで、安全で、最も信頼できる水源をご利用ください。水中に堆積物が多く含まれていると、浄水カートリッジの寿命が短くなります。堆積物の多い水を使用する場合は布などで濾してから、本製品をご使用ください。
- 付属のボトル以外は使用しないでください。本製品に付属のボトル以外を使用した場合は本来の効果を保証できません。
- 浄水カートリッジの使用回数を必ず守ってください。浄水カートリッジの使用回数は水質により異なり、水がきれいな場合は使用回数が多くなり、不純物が多い場合は使用回数が少なくなります。
- 浄水カートリッジの能力が落ちた際は交換してください。浄水カートリッジは押す時間が30秒程度になったら交換時期です。
- 海水では使用しないでください。本製品は淡水にのみ対応します。
- 油または油を含んだ水は使用しないでください。
- 水源に鉱山がある場合や化学物質の流出の影響を受けた水では使用しないでください。高濃度の化学物質、重金属、その他の有害物質が含まれている可能性があります。本製品では対応できません。
- 本製品を凍らせないでください。浄水カートリッジは最大2回の冷凍と解凍には耐えることができますが、それを超える浄水能力が弱まります。上記回数を超えた場合は浄水カートリッジを交換してください。
- 二次汚染が発生しないように、インナーフィルスの内側が汚染水に接触しないように注意してください。万一接触した場合は、お手入れ方法に従って各パーツを洗浄してください。洗浄ができない場合は、浄水を5〜7回繰り返し洗って汚染物の濃度を極力下げてください。
- 浄水されたインナーフィルスの水の二次汚染を防ぐために、浄水後はルーキヤツプを確実に閉めてください。
- 浄水後の水は長期保存せずにできるだけ早く使用してください。
- 熱湯や電子レンジを使用しないでください。浄水器の浄化する材が破損し、本来の浄水能力が発揮できない恐れがあります。
- 60℃以上の水は使用しないでください。本来の能力が発揮できない恐れがあります。
- 使用前に毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合には直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。

⚠ 注意 人が傷害を負ったり肉体的損害の発生が想定される内容です。

- 本製品に強い衝撃を与えないでください。破損する恐れがあります。
- 火気を近づけないでください。破損する恐れがあります。
- 不純物の多い水や使用回数が多い浄水カートリッジで浄水をした場合、アウターボトルとインナーフィルスの隙間から水が漏れる場合があります。
- 本製品の浄水試験は管理された環境の試験室で行っています。実際の使用では試験結果と異なった結果がでる場合があります。

■ 使用前の点検

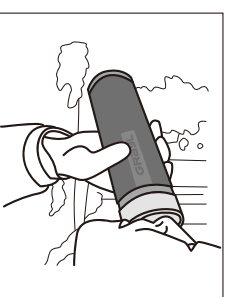
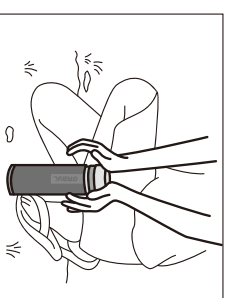
使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。

- 割れや破損がないか 浄水カートリッジの使用回数内か

■ 使用方法

⚠ 常に一番きれいで、安全で、最も信頼できる水源をご利用ください。水中に堆積物が多く含まれていると、浄水カートリッジの寿命が短くなります。

○ 浄水方法

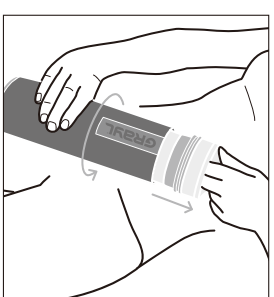


- ①アウターボトルに浄水する水を入れます。その際内側の線を超えないようにしてください。
※堆積物の多い水を使用する場合は布などで濾してから、本製品をご使用ください。
- ②アウターボトルにインナーフィルスを入れルーキヤツプを開めます。その際空気を抜くためにルーキヤツプを1/4回回転めます。その後、アウターボトルを平らな地面などに置き、体重をかけてゆっくりと下に向けて押し込みます。約15秒で浄水が完了します。
- ③浄水が完了したら汚染水が入らないように注意してルーキヤツプを確実に閉めて使用してください。

※浄水させるために一定の圧力が必要です。押し込む際は転倒などに注意してください。
※不純物の多い水や使用回数が多い浄水カートリッジで浄水をした場合、アウターボトルとインナーフィルスの隙間から水が漏れる場合があります。その際は時間をかけてゆっくりとインナーフィルスを押ししてください。

○ インナーフィルスの外し方

- アウターボトルに入っているインナーフィルスを外す際は、アウターボトルとルーキヤツプを持って時計回りに回しながら外してください。
※完全に乾いている場合はインナーフィルスを外すのにさらに力が必要な場合があります。



○ 浄水カートリッジの取り外しと取り付け方

- 浄水カートリッジを取り外す際は、インナーフィルスの下部にある浄水カートリッジのロックタワを引いて、ネジを緩めて浄水カートリッジを外します。
※ロックタワを引き出さず浄水カートリッジを回して外すと、ロックタワやインナーフィルス本体が破損する恐れがあります。

- 浄水カートリッジを取り付ける際は、インナーフィルスに浄水カートリッジをねじ込み、ロックタワがインナーフィルスの凹みに入りカチッと音がするまでネジを回して締めます。

